



熊本県における I O T 関連施策の取り組みについて

令和2年（2020年）2月7日

熊本県

商工観光労働部新産業振興局

産業支援課



熊本県における I o T 関連施策概観

普及啓発

- **セミコンIT産業部会等による研修等**
 - ・中小製造業を対象にIoT導入先進企業等からIoT技術の可能性を講演
 - ・組込ソフトウェア（シーケンス制御）教育・研修の実施
- **セミコンIT産業部会等による場づくり等**
 - ・IoT先進企業による講演や実機を用いた技術交流会の開催
- **4者協定に基づくシンポジウム等**
 - ・産総研によるIoT技術の最近の動向や先進知見等を講演

人材育成／デモ

- **ひのくに I o T**
 - ・中小企業技術者に対し、現場改善 + IoT導入のノウハウを伝授
- **I o Tスクウェアくまもと**
 - ・平田機工等、企業のIoTデモ機による実践・教育の場を設置
- **熊本県 I o T 推進ラボ**
 - ・県内の外国人留学生等による母国の文化や習慣等を踏まえた多様なIoTビジネスアイデアの創出
- **I o T 導入啓発推進事業**
 - ・I o Tを導入し、高い生産性を上げている企業の取り組みや、県の I o T 施策を一体的に紹介するパンフレットの作成

導入モデルの形成 ／技術検討

- **I o T 導入モデル企業支援**
 - ・自社の生産ラインにIoT導入を目指す中小製造業からモデル企業を募集
 - ・県産業技術センターと地元 I T 企業がチームを組んで技術支援
- **くまもと技術革新融合研究会（R I S T）での研究等**
 - ・熊大や高専の教授と中小製造業の技術者、県産業技術センターがチームを組んで月刊フォーラムの開催や技術検討会等の開催
- **ひのくに I o T 実装支援事業**
 - ・I o Tを使った生産性向上を目指す県内企業に、実践型研修を実施、加えて専門家が導入までの伴走支援。

実装・開発投資支援

- **地域未来投資促進事業補助金等**
 - ・地域経済牽引事業に係るIoT、AI関連産業分野の設備投資に対する補助
 - ・補助率 1 / 2、補助上限 5,000万円
- **「熊本県 I o T 推進ラボ」事業化補助金等**
 - ・IoTを活用した新たな製品や生産性向上に資する取り組みへの補助
 - ・補助率 1 / 2、補助上限 100万円
- **起業化支援センターによる出資**

ひのくに I o T（スマートものづくり応援隊）

事業の内容

- ①研修事業：IoTやAIをツールとして活用した企業における生産性向上のための専門家育成を目的とした研修を実施（実施主体は（公財）くまもと産業支援財団）。NECや東芝、グループノーツ等、IoT・AIの先端企業技術者を招聘している。
- ②派遣事業：育成した専門家を、県内製造企業からの要請に応じて派遣して、現場改善やIT（IoT）等の導入を目指す。
〔昨年度の実績：専門家を8名養成し（平成29年度の2名と合わせて計10名）、4企業に延べ10回の派遣を実施〕
※本年度より、企業に対しモデルライン等を持ち込み、自社の現場で体験活用してもらう実践型研修及び伴走支援を実施している。
（名称：ひのくにIoT実装支援事業）

①研修事業

（製造業の経営者・幹部向けIoT/AI導入セミナーの様子）



現場指導者向けに行う「ひのくにIoT」だけでなく、経営者層を対象とした、IoT導入実践講座も実施。

②派遣事業

（スマートグラスビデオ標準作成支援の様子）



育成した専門家を派遣し、中小企業に適したIoTツールやロボット等の導入による現場改善等の指導を実施。

I o Tスクウェアくまもと

概要

熊本県では、平成30年6月に、NTT西日本と連携し「I o Tスクウェアくまもと」を開設。
NTT西日本熊本支店1階に設置してある「スマートひかりスクウェアくまもと」の一角を改装。
県内外のI o T関連企業に協力してもらい、最先端のI o T機器による体験・実践の場としているほか、併設されているセミナールームではI o T研修等を開催している。

I o Tスクウェアくまもとオープニングセレモニー



(展示例)

平田機工によるI o T化された遊星歯車の組み立てライン

3Dセンサ、力覚センサ、測長センサ等のセンシングによる「自動組立て→解体」を行うデモライン



ロボットのリアルタイムデータによる故障予知、予防保全、保守点検等の可視化。生産情報の収集による生産性の最大化を実施。

遊星歯車の組立デモ



「熊本県IoT推進ラボ」外国人等企画室

事業の内容

事業目的・概要

- 県内の外国人留学生や労働者等をネットワーク化し、母国の生活習慣や産業界におけるニーズについて情報収集し、異文化融合・共働によって、県内企業におけるIT・IoTを使った新たな製品やサービスにつながるビジネスアイデアを創出し、事業化につなげることで震災からの創造的復興を目指す。

事業の内容

- 外国人留学生・労働者を県内大学、企業から募集し、IT・IoTを使ったビジネスアイデアを創出する外国人等企画室（IDIC）を立ち上げる。（運営は外部委託）
- 外国人等企画室で生まれたシーズを、参加プレイヤーと連携し、地元企業においてIT・IoTを使った新たな製品やサービスの創出を目指す。

今年度実績

- 参加者17名で事業スタート
- キックオフセミナーの開催（12月26日）
- PREセミナーの開催（1月10日）
- 農業現場見学ツアーの実施（1月18日）
- 今後はワークショップ、成果発表会を予定



県内の外国人留学生等による、ビジネスアイデア創出を目的とする企画室を立ち上げ、テーマごとにIoTを活用したアイデアについて検討するワークショップを行っている。



提案されたアイデアは、県内企業やIoT推進ラボ関係者向けに発表を行い、優れたアイデアがあれば事業化を目指す。

I o T 導入モデル企業支援①

事業の目的

自社の生産ラインに I o T 導入を目指す中小製造業から、モデルとなる企業を募集。

I o T 導入に向けた企業の取組みを熊本県産業技術センターと地元 I T ベンダーがチームを組んで技術支援を実施。

その試行錯誤の過程などを水平展開することで、I o T を導入する中小ものづくり企業が継続して出現することを目標とする。

具体的な事業内容

12月24日
(火) に開催!

マッチング
相談会

✓地元ITベンダーと
IoT導入を
検討する県内
企業の引き合わせ

モデル企業
決定

個別支援

✓モデル企業現地視察
✓伴走助言による支援
(月1回程度会合)

報告会

✓県内企業への水平展開

熊本県産業技術センターのプロジェクトチームによる I o T 普及促進活動

- IoT導入を希望する県内中小企業に対し、もの、人、金の観点から総合的な支援を行う。
→ 各室からのメンバーで構成したIoTプロジェクトチームを発足し、組織的な支援を実施。

おわり

がんばるけん！

くまもとけん！

